

マクロプロラクチンに対する各種プロラクチン測定法の影響の程度の比較とその回避方法について

研究責任者：臨床検査部長 日高 洋

1. 対象

2019年3月26日（承認日）から2019年12月31日の期間にプロラクチンの検査を実施し、不承諾書の提出がなかった患者

2. 研究機関名

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部

3. 目的

各種測定法におけるマクロプロラクチンの測定値への影響を比較するとともに、その回避方法と発見方法の探索について研究を行う。

4. 方法

患者の残血清を用いてマクロプロラクチン検体を各種測定法で測定し、その測定値などを比較するとともに、その回避方法と発見方法の探索を行う。

5. 意義

マクロプロラクチンによる高値化の程度を把握するとともにその回避などができれば、プロラクチン測定において臨床上非常に有用であると考えられる。

6. 個人情報の取り扱い

本研究の結果は、貴重な資料として学会や医学雑誌に公表する場合もあるが、本研究では対象検体の患者さんの個人情報を削除し、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行う。対象患者さんとこの符号（番号）を結びつける対応表を当院及び大阪大学で作成し、個人情報管理者は外部に漏れないよう厳重に保管する。

7. 問い合わせ先

本研究は、残余検体を使用することから侵襲性がなく、かつ不承諾書の提出がない検体に限定して実施することから、本研究は臨床検査部ホームページで公開することで、同意省略にて研究を実施することに倫理審査委員会から許可を得ています。試料、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、問合せ先までお申し出ください。その際も不利益が生じることはありません。

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2番15号

TEL 06-6879-6691（内分泌・腫瘍マーカー検査室 担当者：畑伸顕）